

徹底解説

やさしい社会を明石から

明石が選ばれる理由



人口が過去最高に

人口

8年連続増



もうすぐ30万人!

出生率

1.70 (2018年) UP



人口

これが明石の好循環!

にぎわい

地価 7年連続上昇



税収増 UP

財源

安心

市民サービスの向上へ

施策



91.2%の市民が住みやすい

これが明石の好循環

総論	明石の今	…02-03
特集	新型コロナ	…04-05
各論	1. こどもを核としたまちづくり	…06-11
	2. 高齢者	…12-13
	3. 障害者	…14-15
	4. 犯罪被害者・更生支援	…16-17

目次

5. LGBTQ+	…18
6. ひきこもり	…19
7. 本のまち	…20
8. 環境	…21
やさしい社会を明石から	…22-23
明石のたからもの	…24

進む!“市民ニーズ”

数字で見る「明石の今」

特集

子ども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境



明石の魅力が広がってきたんだね!

住みやすいと
感じる人が**91.2%**に
明石市 市民意識調査 2019 から

子育て世代の転入が
2年連続 **関西1位**

2019年住民基本台帳人口移動報告から

市外
から

生活満足度
関西1位、全国2位

市版SDGs 調査2020 から

市民
から

年々
上昇中!

住みたい自治体
ランキング**県内3位**

2020年5月リクルート住まいカンパニー
(居住府県別) から



安心

施策

まちづくりの2大柱

こどもを核としたまちづくり

すべての子どもたちをまちのみんなで支える

全国トップクラスの
安心感
明石独自の
5つの
無料化
所得制限なし

- ① こども医療費
- ② 中学校給食
- ③ 保育料
- ④ 遊び場
- ⑤ おむつ(宅配も)

すべての人に“やさしい”まちづくり

先進的な取り組みが国から評価!

県内初 / 2020年7月
SDGs未来都市
に選定



関西初 / 2019年8月
先導的共生社会
ホストタウンに認定

関西初 / 2017年12月
共生社会ホストタウン
に第1号として登録

さらに



障害者

全国初 手話言語・障害者コミュニケーション条例 (p14)

全国初 合理的配慮の提供を支援する
公的助成制度 (p15)

子ども 全国初 離婚前後のこどもの育ちを応援 (p10-11)

高齢者 全国初 みんなで認知症あんしん
プロジェクト (p12-13)

全国初 犯罪被害者等支援 (p16) 全国初 更生支援等条例 (p17)



に応えたまちづくり

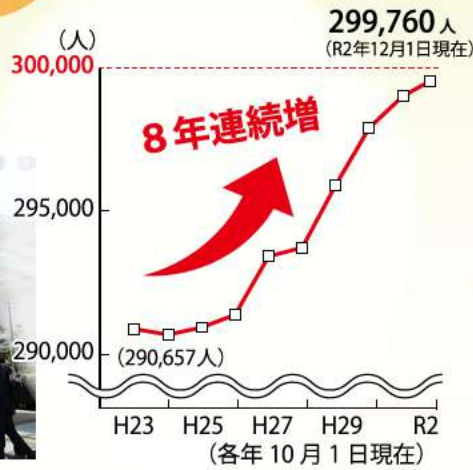
人口 **8年連続増**
30万人突破へ！

子育て施策の充実が、子育て世代の増加につながり、明石市の人口は8年連続で増加しています。



にぎわう明石駅前

過去最高人口
更新中！



やさしいまちづくりが広がることで、
市民の安心感が増し、
人口が増え、にぎわいが増し、
税金が増え、さらに新たな
市民サービスができる
これが、明石の**好循環**です。

出生率 **1.70**
国の目標に近づく
(1.80)



にぎわい

明石駅南側
新規出店年間 **20** 店舗

※2016～2019年度平均。新規開店・入替・改装

地価は **7年連続**で上昇

明石市の
合計特殊出生率の伸び

(2011年)

県	国
1.40	1.39

(2018年)
1.70

県	国
1.44	1.42

合計特殊出生率
(1人の女性が一生の間に
何人の子を産むか)

財源

7年で **30億円増**
税金が増加！

※2012年度と2019年度の税金(決算額)の比較

税金増加で財源確保へ

人口増加や地価の上昇は税金の増加につながっています。
個人市民税、固定資産税、都市計画税の課税額は、2012年度からの7年間で約30億円増加しました。

個人市民税
固定資産税
都市計画税



税金 増えています！

主要税収入*が7年で
30億円増



若い世代の転入者が
増えるから
納税者が増えて
いるんだ

(※個人市民税、固定資産税、都市計画税の合計額)

貯金 増えています！

貯金(基金残高*)
が **115億円**に

(2010年度)

70億円

12年ぶりに
100億円を
超えたんじゃ



(※財政基金、減債基金、特別会計等財政健全化基金の合計額)

借金 減っています！

実質公債費比率 **2.8%**

(2018年度実績)

自由に使えるお金のうち
借金の返済に使うお金の
割合が小さい

県内
29市中
1位*

「やさしいまちづくり」
にお金が
使えるんだね



※2018年度

特集

子ども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

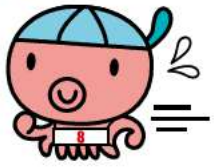
本のまち

環境

新型コロナウイルス感染症対策

迅速な対応で 市民の命と生活を守る

スピードが大事!



新型コロナウイルス感染症対策として、2020年3月に対策本部を立ち上げて以降、相談体制や検査機能、医療機関との連携を強化し、市民の健康と生活を守るために「スピード感」を持って取り組んできました。

感染対策

最前線で市民の命と安全を守る あかし保健所

2018年4月に中核市に移行し、市独自であかし保健所を設置。県と市の窓口を一元化し、迅速で質の高い感染症対策業務が可能に。

市民からの電話相談 病院の受診調整 検査検体の採取 PCR検査



保健所があるから
短期間で対応が可能

困っている市民に手を差し伸べるのが行政の使命・役割

相談体制

お困りごとに
応じて対応

専門相談窓口を複数設置。
専門の職員が必要な支援に繋がります。



相談件数	感染したかもダイヤル	18,692件
	総合相談ダイヤル	8,429件
	生活支援(高齢・障害相談)ダイヤル	825件
	※いずれも2020年12月1日現在	

検査体制

検査数と体制の拡充

ポイント① 市民と市が直接連絡を取り合い、PCR検査までスピーディに。

<検査体制がある>



明石、神戸、姫路、
尼崎、西宮

<検査体制がない>

県内ほか36市町



ポイント②
検査機器や検査員を増強



検査可能数の多さを生かし、濃厚接触者を含め対象を拡大して検査を実施



組織体制・情報発信を強化

市の組織で最も大きな枠組みの「局」として感染対策局を設置。

最大120人超の体制に

政策局 総務局
市民生活局 福祉局
都市局 こども局

+ 感染対策局

体制を一元化し迅速に対応



「市民情報ひろば」を開設
コロナの最新情報や市の支援策を紹介

官民連携

市民との協力体制を強化

感染から市民を守る官民連携の体制づくり
明石市ウィズコロナ官民連携会議の開催



- 自治会
- 高齢者団体
- 民生委員
- 商店街
- 障害者団体
- 商工会議所
- 病院
- 大学
- 医師会・歯科医師会

情報共有・さらなる連携の強化・迅速で合理的な対策の実施・着実な生活支援

明石市独自の17の支援策

特集

17歳未満

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境

売上げが減って、
4月分のテナント料が払えない！

1 個人商店へ 家賃の緊急支援



4月21日受け付け開始
初回は4月24日に振り込み

休業要請や外出自粛の影響で、売上げが激減する中、国や県の支援までの資金繰りが難しい個人商店に、家賃2か月分を緊急貸し付け。

のべ
585件

上限100万円

無利子 無担保

総額
約1億8000万円

最短2日で
振り込み



学費が払えず、このままだと
大学を辞めることに・・・

2 「コロナで退学」から守る 学費の緊急支援



5月1日受け付け開始

収入が激減し、大学や専門学校の学費が払えない学生に、前期分を市が直接大学に振り込む緊急支援を実施しました。

ニーズに合わせて対応してきました

▶上限50万円

▶納期限5月末

▶大学・高専

▶上限60万円

▶納期限6月末

▶大学院・

専門学校なども

▶上限100万円

▶納期限要件撤廃

総額
約6100万円

3 生活困窮世帯に 特別定額給付金を 先行支給

生活困窮世帯に、国の特別定額給付金を5月1日から先行支給しました。

4月28日
受け付け

5月1日に
現金で

4 児童扶養手当 上乗せ支給 (計10万円)

ひとり親世帯への緊急支援として、5月の児童扶養手当に5万円を上乗せして支給。さらに長引く影響を考慮し、収入が大きく減少したひとり親世帯なども対象に含め、1世帯あたり5万円を追加で支給。⇒ P11

5 養育費緊急支援

こどもが養育費を、確実に受け取れるよう市が働きかけや立て替え(1か月分・こども1人につき上限5万円)を行いました。⇒ P10



6 国の給付金に加えて 子育て世帯に 児童手当(1万円)上乗せ支給

2万2300世帯

国から支給される給付金に加えて、市が児童手当を支給している子育て世帯に独自に1万円を支給しました。

7 高校進学を応援 返済不要の奨学金

高校進学を希望する子どもたちが、安心して進学できるよう給付型奨学金を創設。学習支援や生活相談などのサポートも。



対象拡大
110人に

入学時上限30万円

月1万円×3年間

学習・生活支援

8 絵本で親子の楽しい時間を 絵本の宅配便

のべ750件

家で過ごす時間が増えた子どもたちに、3742冊をお届け図書館スタッフが絵本を届けました。⇒ P20

10 赤ちゃん応援給付金 新生児1人につき10万円支給

国の特別定額給付金の基準日以降に生まれた新生児に10万円を支給します。子どもの見守り事業とも連携。



9 テイクアウト・デリバリー こども食堂

こども食堂や飲食店の協力を得て、子どもたちに栄養と愛情のこもったお弁当をお届け。⇒ P09

11 重症化リスクが高い高齢者・障害者を支援 サポート利用券を配布

飲食店やタクシーで使える「サポート利用券(1万円分)」を配布。緊急アンケートを同封し、困りごとの聞き取りも。

12 市民税非課税世帯に 生活見守りサポート利用券 (1人5000円分)を交付

13 認知症の人と家族を支援 給付金・在宅介護支援金 最大3万円

14 飲食店・商店街 感染症対策助成金

飲食店 5万円 商店街など 50・100万円

15 市税の納付期限の延長

16 水道基本料金 6か月分無料



17 3割おトク商品券 を発行

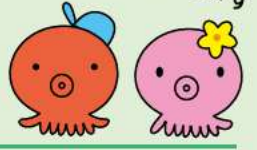


各論

明石が選ばれる理由 8つの取り組み

明石市が進める「こどもを核としたまちづくり」「すべての人に“やさしい”まちづくり」の具体的な取り組みを、こどもや高齢者など8つの分野から紹介します。

具体的な取り組みを
ご紹介します



- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1. 【こども】 こどもを核としたまちづくり …… p06 | 5. LGBTQ+ ^{プラス} …… p18 |
| 2. 【高齢者】 住み慣れた地域で安心して暮らす … p12 | 6. ひきこもり・専門職員 …… p19 |
| 3. 【障害者】 誰もが暮らしやすいまちに …… p14 | 7. 本のまち …… p20 |
| 4. 犯罪被害者・更生支援 …… p16 | 8. 環境 …… p21 |

特集

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

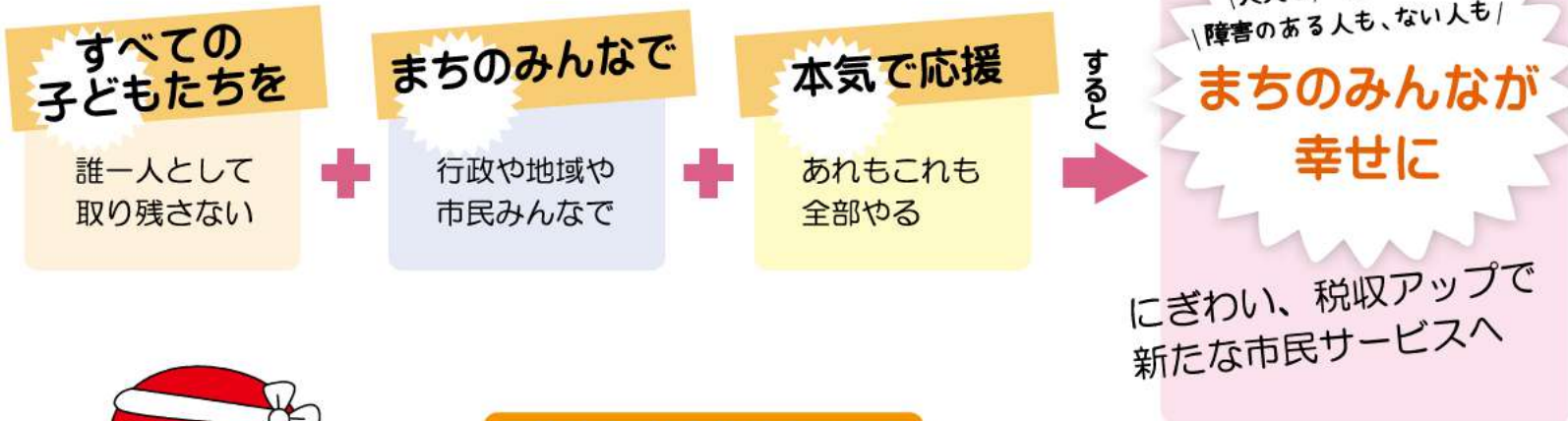
本のまち

環境



1 こどもを核としたまちづくり

子育て世代の人口増加につながっている全国トップクラスの明石の子育て支援。「すべての子どもたちを」「まちのみんなで」「本気で応援」をキーワードに、まちの未来でもある子どもを全力で応援しています。



こどもの未来は明石の未来



虐待防止・社会的養育の充実

- p08 児童相談所の新設** 中核市で 関西初
・国基準の2倍の職員を配置
- p09 あかし里親100%プロジェクト**
- p07 おむつ定期便** アウトリーチ支援 県内初

早期の気づきと支援

- p08 妊婦全数面接** ・妊娠期から子どもを支援
- p09 乳幼児全数面接** ・新生児の家庭を訪問
- p09 あかし版こども食堂** ・全28小学校区に開設

子育てを応援

- p07 こども医療費無料化**
・所得制限なし。高校3年生まで拡大予定
- p07 第2子以降の保育料無料化** 関西初
- p07 大型遊具を備えた 親子交流スペース「ハレハレ」**
・入場料無料の駅前施設

学びを応援

- p07 中学校給食の無償化** 中核市以上で 全国初
・食育、地産地消 ・アレルギー対応なども
- p20 本のまちの推進** 県内初
・駅前に図書館新設
・ブックスタート&ブックセカンド

寄り添う支援

- p10 離婚前後の養育支援** 全国初
- p11 児童扶養手当の実質毎月支給** 全国初
- p11 無戸籍者支援** 全国初

安心して子育てができます

特集

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境

人口が増え、出生率が上昇、
まちの元気や活力に

明石独自の 5つの 無料化

明石市が進める「こどもを核としたまちづくり」の中心を担うのが、子育て支援の5つの無料化。子育てにかかる経済的な負担の軽減は人口増加と出生率上昇につながっています。

5つの無料化

- ① こども医療費
- ② 中学校給食
- ③ 保育料
- ④ 遊び場
- ⑤ おむつ(宅配も)

現金ではなく、サービスで提供

無料化の特徴は、現金を配るのではなく、サービスを提供すること。しっかり子どもに支援を届けていくために、今すでに発生している「サービス」を無料にしています。

「子どものため」、だから所得制限なし

親の所得に関わらず、すべての子どもたちにサービスを届けるため、5つの無料化はすべて所得制限はありません。

① こども医療費の無料化

所得制限なし

2021年、高校3年生まで拡大予定

明石市では、2013年に中学3年生までの医療費を無料にしています。さらに、2021年7月には、対象を高校3年生まで広げる予定です。

薬代も無料 市外の病院も無料



③ 第2子以降の保育料の完全無料化

所得制限なし

関西初

夫婦が理想とする数の子どもを持たない主な理由は「お金」。経済的な負担の軽減は出生率増加にもつながっています。

兄弟の年齢、関係なし 市外の施設でもOK

④ 公共施設の入場料無料化

主な公共施設の入場料を無料にしています。思いっきり体を動かしたり、ゆっくり星空を眺めたり、お金や天気も気にせず遊べます。

明石海浜プール
幼児と市内在住・
在学の小学生以下



天文学館
市内外問わず
高校生以下



親子交流スペース「ハレハレ」
市内在住
小学生以下の子どもと保護者

文化博物館
市内外問わず中学生以下



②

2020年4月スタート

中核市以上で全国初

中学校給食が 無償に

所得制限なし



すべての市立中学校で提供されている給食が、2020年4月から無償になりました。教育費が膨らむ中学生のいる家庭の負担の軽減は、子どもの健やかな成長を支えます。

みんなで一緒に

給食費が無償

心のこもった
あたたかい給食

⑤ おむつ定期便 0歳児の見守り

所得制限なし

子育て経験のある見守り支援員(配達員)が、0歳児の赤ちゃんがいる家庭に紙おむつなどを直接お届け。経済的負担の軽減に加え、毎月家庭を訪問することで必要な支援につなげます。

選べる赤ちゃん用品

紙おむつのほか、おしりふきやミルクなどから選んだ品物を毎月お届けします。

選べます/
3000円相当の
子育て用品

計10回/
3か月~1歳
の毎月



見守りで不安解消

研修を受けた見守り支援員が、子どもと保護者に直接会います。



夜あまり寝てくれなくて...

なにか気になることはありませんか

「こどもの幸せ」が最優先

明石の
こどもは
明石で守る

こどもの
声を
聞きます

こどもの
味方で
あり続けます

こどもの
思いを
かなえます



全体に目配りできるように市の中央部に立地

児童相談所 (明石こどもセンター)

中核市で関西初

2019年、明石市は中核市として3か所目、関西では初めてとなる児童相談所「明石こどもセンター」を設置しました。

1 JRの駅前 すぐの所に

利便性の良い市内中央部の
JR 大久保駅前に開設

近隣の反対もなく、
市議会も
全会一致で賛同

常勤弁護士も複数配置

児相の法的権限を迅速・的確
に運用するために不可欠な存在。
日々のケースワークに携わるた
めに常勤化しています。

3 通学も 可能に

一時保護中も 子どもの思いを大切に



小中学校への通学も可能に

明石市の一時保護所では、いつもと同じ学校へ行きたいという子どもの思いがあれば、それを大切にします。子どもの学ぶ権利を保障し、できるだけいつも通りの生活が続けられるようにします。

さらに

親や友人との面会を可能に

面会についても、まずは子どもの声を聞き、子どもの思いを尊重して、親や友人と会えるようにしていきます。

いつも通り、ポイントだよ



2 人材を 手厚く配置

職員数は国基準の2倍

子どもと家庭をめぐる問題は、多様化・複雑化し、相談件数も大幅に増えています。一人ひとりの状況に応じて細かく対応できるよう職員を配置しています。

職員数は
国基準の
2倍以上!

自治体として 9年ぶりの児童相談所

	児童福祉司	児童心理司	保健師	弁護士(常勤)	児童指導員
明石市	20人	8人	4人	4人	22人
国の基準	10人	5人	1人	弁護士の配置またはこれに準ずる措置	6人

2020年8月時点

全国初

一時保護の第三者チェック制度

虐待などが疑われる場合、児童相談所は子どもを守るため一時保護します。その際の判断は児童相談所が行いますが、明石市では保護の後、すみやかに第三者が必要性をチェックすることで、保護を適切に行えるしくみを導入します。

妊娠・子育て まるごと寄り添い支援

支援が必要な子どもを早期に発見し、必要な支援につなげるため、妊娠期から小学生までのステージでさまざまな気づき・寄り添いの機会を設けています。



妊娠

妊婦全員と面談

タクシー券
5000円分プレゼント

出産

産後ケア

宿泊型、デイサービス型、訪問型で心と体をケア。訪問型は初回無料

出産・育児のサポート

すべての妊婦と赤ちゃんに会います

面談 → 気づき → 支援

ぼくたち生まれる前から見守られているんだね



子どもの見守り

特集

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境



地域の気づきの拠点 あかし版こども食堂

あかし版こども食堂は、食を通して、すべての子どもたちが安心して過ごせる場所です。地域のあらゆる世代が、気軽に集まり、支援が必要な子どものサインにいち早く気づく重要な役割を担っています。



全小学校区で実施、だから安心

こども食堂は全28小学校区44か所に広がりました。子どもたちが歩いて行ける小学校区内にあるので通いやすく、地域の人ともすぐ顔見知り。まちのみんなで子どもを見守ります。



- こども食堂開設場所
- 里親登録がある校区



2020年12月時点

コロナ禍でも子どもを食から支える テイクアウト・デリバリーこども食堂

新型コロナの影響で、家で過ごす時間が増えてきている子どもたちに、こども食堂や飲食店の協力を得て、栄養と愛情のこもったお弁当を子どもたちに届けました。



1万食以上を提供
持ち帰りも宅配も

あかしこども財団が 運営を全力サポート

こども食堂の開設・運営は、一般財団法人の「あかしこども財団」がサポート。助成金のほか、人材の育成やPRまで、幅広く、柔軟に支援しています。

● 手厚い助成金 (2020年度)	
備品費	年間5万円
運営費	1回2万円
テイクアウト	1回3万円
● 人材の育成	
● PR活動のサポート	

すべての子どもに家庭のぬくもりを/ あかし里親100%プロジェクト

すべての子どもたちが、家庭での愛情やぬくもりを感じながら育つことができるよう、里親家庭を身近に増やす取り組みを進めています。

ショートステイ里親への独自の支援も

3日程度、親元を離れる必要がある子どもを専門に預かるショートステイ里親家庭に、市独自の支援を行っています。

- QUOカード 1万円(初回)
- 子育て用品の無料レンタル
- 専門スタッフによる相談窓口

Topic
専門人材の育成も

全国の見相職員の研修拠点/ 西日本こども研修センターあかし



全国のこども虐待防止に関わる関係機関などで主に指導的立場にあたる職員を対象に高度専門的な研修を実施します。また、放課後児童クラブの支援員研修も。



弁護士・市区町村職員も育成

人材の育成は喫緊の課題です。明石で人を育て、全国にノウハウを広めていきます。

乳幼児

小学生

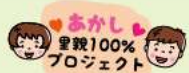
子育てスタート応援事業

家事・育児ヘルパーサービスの2時間無料利用券

子育て訪問相談

希望者には看護師や保育士などが家庭を訪問

切れ目のない支援が重要だね



あかし里親100%プロジェクト

病気や育児疲れの時、短期で子どもを預かるショートステイ里親

新生児の家庭訪問

生後2か月までにすべての子どもの家庭を訪問

ブックスタート

4か月児健診時、絵本をプレゼント

ブックセカンド

3歳6か月児健診時、絵本をプレゼント

こども食堂

子どもたちの身近な場所で開設



おむつ定期便

子育て経験のある配達員が毎月子育て用品をお届け ⇒ P07



受診・面談のきっかけ ⇒ P20

気になることがあれば市と情報共有

特集

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

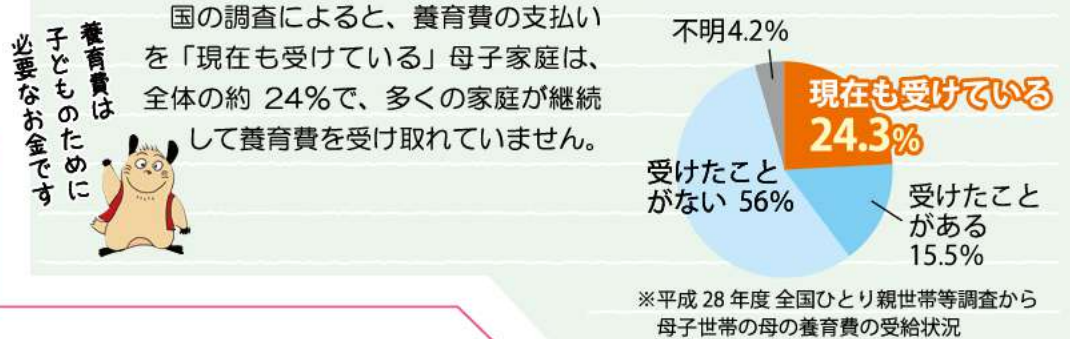
環境

離婚前後のこどもの育ちを応援

全国初

親の離婚・別居などによって子どもが不利益を被らないよう、子どもに寄り添ったさまざまな支援を行っています。

養育費を受け取れているのは約24%



養育費は子どものために必要なお金です



こどもの立場に立った取り組みを積極的に進めます

一人ひとりに本気で寄り添う

こども養育 3つのサポート

1 養育費などの取り決め

手続きのアドバイスや、公的な書類の作成にかかる費用を補助します。



参考書式の配布
 父母間の話し合いの参考に
 養育費・面会交流などについて記載された「こどもの養育に関する合意書」「こども養育プラン」「合意書・養育プラン作成の手引き」を離婚届の配布時や相談時に配ります。

全国初

子どもの暮らしと気持ちのために

明石市の書式を参考にして、法務省がパンフレットを作成（2016年）。全国の自治体にも配布。

裁判所での手続きの仕方をアドバイス

市での養育費の取り決め率は **7割**に！
 （全国は約6割）

調停申立や公正証書の作成等にかかる費用を補助

2 養育費の受け取り

全国初

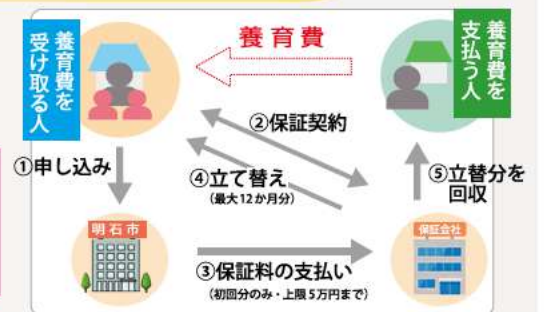
子どもが養育費を確実に受け取れるように

市では、子どもの成長に欠かせない養育費をきちんと子どものもとに届けられるよう、支援を進めています。

保証会社が立て替える パイロット事業

2018年、養育費の不払いがあったときに保証会社が立て替える事業を実施しました。

- 第三者が入ったことで…
- ・未払いの養育費が支払われた
 - ・相手方から継続して支払われている
 - ・保証会社から立替金が支払われた

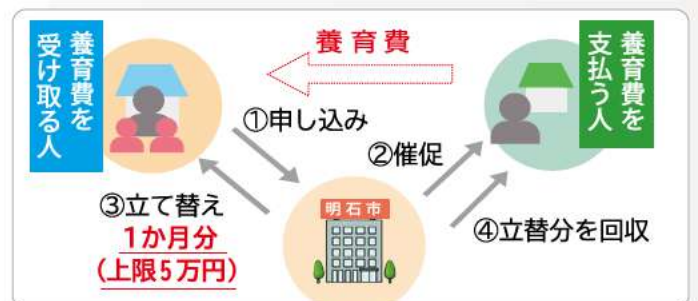


しかし課題も…

- ・利用できる人数に限りがある
- ・立て替えまでに時間がかかる
- ・保証契約の場合、一般には審査がある（明石市パイロット事業は無審査）

こどもの養育費 緊急支援事業 スタート

2020年7月、不払いになった養育費を直接市が催促し、不払いが続く場合に市が立て替える事業を実施しました。



ひとり親家庭を支えます

特集

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境

明石市の取り組みが全国に広がっています

2014年 参考書式の配布

2016年 国 法務省が養育に関するパンフレットを作成

2018年 養育費立替パイロット事業を試行

2019年 国 離婚前後親支援モデル事業の創設
 大阪府大阪市 養育費の支援事業を開始
 滋賀県湖南市

2020年 同様の事業が多くの自治体で始まっています
 宮城県仙台市 養育費の支援事業を開始
 東京都豊島区
 千葉県船橋市
 神奈川県横須賀市
 愛知県知立市
 兵庫県神戸市
 福岡県福岡市 など

2019年 こどもの養育費に関する検討会を開催

2020年 国 養育費不払い解消に向けた検討会議を開催



全国初

3 面会交流

子どもの「会いたい！」を応援

「今さら連絡をとりにくい」「自分たちだけでは不安」といった悩みのある人を、経験豊富なスタッフがサポート。相手との日程調整や当日の立ち会いのほか、交流場所の提供もしています。

面会交流の取り組み

2016年度	8件
2017年度	42件
2018年度	64件
2019年度	57件
2020年度 (11月時点)	32件



【利用者の声】

相手には会わず
子どもと面会できる。
精神的な負担が
軽くなりました。

実績
203件

養育手帳の配布



全国初

児童扶養手当を毎月支給

明石市では、ひとり親家庭に支給される児童扶養手当を毎月支給しています。

通常	0円	8万円	0円	8万円
	←4月→	←5月→	←6月→	←7月→
明石市	4万円	4万円	4万円	4万円

(イメージ)



支給のない月に無利子で貸し付け

コロナ禍では2度の緊急支援も

新型コロナウイルスの影響を受けるひとり親世帯に、10万円(5万円×2回)の給付金を支給。⇒ p05

全国初

一人の子どもも見捨てません/ 戸籍がない人への支援

必要な行政サービスにつないだり、戸籍を作るための手続きを支援したりするなど、総合的支援を実施しています。

- ・相談窓口を設置
- ・「戸籍がない方のためのサポートパンフレット」の配布
- ・サポートナンバーカードの発行



戸籍の取得につながっています

相談窓口を設置し、本格的な支援が始まって以降、9人の子どもの戸籍取得につながりました。

全妊婦面接から支援につながるケースも

教育 子どもたちの学びも応援

小学1年生で30人以下の少人数学級

県内初



学校生活の第1歩でつまづかないように、小学1年生で1クラス30人以下の少人数学級を実施しています。

1クラスの人数(最大)

一般的な市

1~4年生	35人
5、6年生	40人

明石市

1年生	30人
2~4年生	35人
5、6年生	40人

質の高い学童保育(放課後児童クラブ)

明石市の放課後児童クラブの支援員の多くが、教員や保育士の有資格者。質の高い学童保育を提供しています。

有資格者(教員・保育士)の割合

明石市 74.0%

(参考:国 約33%)
2019年5月現在



中核市初

▶認定資格研修を市が実施

支援員の認定資格研修を、全国の中核市で初めて実施。受講の機会を増やして専門性の高い支援員の充実に繋がります。

9年間、全学年少人数学級の 小中一貫校を開設

全国初



2021年度、高丘中学校と高丘東・西小学校が小中一貫教育校に移行。小1~中3の計9年間、全学年30人程度の少人数学級で、一人ひとりに応じたきめ細やかな学びを提供します。



特集

いじめ

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境

すべての人に“やさしい”まちづくり

特集

高齢者

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

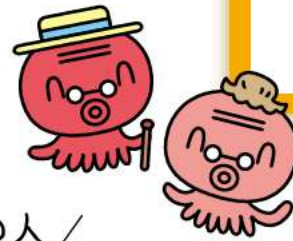
本のまち

環境

2 住み慣れた地域で安心して暮らす

高齢者

認知症と診断された後も、安心して暮らし続けることができるよう、「本人の尊厳の確保」「家族負担の軽減」「地域の理解の促進」を3つの柱に、認知症の人と家族を支援するさまざまな取り組みを進めています。



＼65歳以上の人／

早期に気付く

認知症診断費用を
全額無料に



対象／

- ①認知症チェックシートを提出した結果、認知症の疑いがある65歳以上の人
- ②若年性認知症の診断を受けた人（64歳以下の人）
- ③運転免許更新時に医師の診断書が必要になった人

＼提出した人に図書カードプレゼント／

認知症チェックシート

- ①65歳以上の市民が認知症チェックシートを提出



- ②結果と一緒に500円分の図書カードを送付。

さらに、認知症の疑いのある人には受診案内を同封。



支援につなぐ

認知症の人には
最大3万円

全国初

要支援・介護の認定者に

在宅介護支援金 1万円

※老人ホームなどの施設で生活している人は対象になりません

さらに!!

認知症の診断を受けたら、
認知症サポート給付金 2万円

+

認知症と診断された人に次のいずれかを支給

- ・タクシー券 6000円分
- ・居場所検索用端末(GPS)の基本料金 1年間無料

地域の人みんなで支える

認知症サポーター

認知症サポーターの目印
オレンジリング



小学生向け認知症サポーター養成講座

第一生命保険株式会社 明石支社



企業にも認知症を学ぶ
取り組みが広がっています

認知症かもしれないお客様と接する機会もあるので、具体的な接し方を知ることができて良かったです。

後見支援センター

市民後見人の養成や活動の支援を行うほか、後見制度利用のための資金貸付などを行う後見基金事業なども行っています。

＼みんなで応援！

全国初

後見基金

2018年に市民からの遺贈をもとに、明石市社会福祉協議会が創設した、後見制度に特化した基金。市民後見人の活動費や制度の申し立て支援などに利用されています。



多くの市民後見人が活躍中です

一冊で必要な情報と記録を /

認知症手帳(あかしオレンジ手帳)

全国初

認知症サポート
給付金を受給した人
全員に交付

受診している病院や介護サービスの
利用状況を記録できるほか、支援サー
ビスの紹介や相談窓口を掲載した手帳。



明石駅前でも認知症への取り組みを啓発

総合的に支援
継続的に



全国初

3つの無料券をお届け

あかしオレンジ手帳と
一緒に交付

次の①～③のサービスを無料で利用できます。

① 宅配弁当券

お弁当の宅配を 20 食分
利用できます。



20食分

② 寄り添い支援サービス券

見守り・話し相手・外出時の付き添い
などのサービスを利用できます。



10回分

③ 1泊2日のショートステイ利用券

1回分

1泊2日(食事代は自己負担)の
ショートステイを利用できます。



認知症の人がサービスにつながるだけでなく、
家族の負担軽減にも

**愛着のあるまちで
暮らし続けるために**

食を通じた見守りを /

「みんなの給食」全中学校区に

県内初

月 1 回程度開催し、食事のほか口の健康
に関する体操なども行います。運営は地元
の有償ボランティアが行っています。

みんなで一緒に
食べるとおいしい

みんなに会うのが
楽しみです



身近なところで相談をお聞きます /

**市内 6 か所に
地域総合支援センター**

地域総合支援センター(地域包括
支援センター)では、子ども、高齢者、
障害者や生活上の困難を抱える市民
からの相談に総合的に対応します。

社会福祉士や保健師など専門の職
員が、生活のしづらさ、暮らしの中
の困りごとをお聞きして、関係機関
と連携し、総合的な支援に取り組ん
でいます。



専門の職員が
相談をお聞きます

ご自宅を
訪問します



交通事故から命を守る /

すでに4000人(※)が返納!

※2016年からの合計

**運転免許
返して安心プロジェクト**

高齢者の自主的な免許返納を応援し、交通事故の
未然防止に取り組んでいます。2019 年度の申請
数は約 1500 件になりました。

対象 / 運転免許を返納した 65 歳以上の市民

- 返納した人に / 図書カード 3000 円分
- 勧めた人にも! / 図書カード 1000 円分



認知症カフェ

認知症の人と家族、医療・介護の専門
職や地域の人に参加し、悩みを話したり、
情報交換しながら楽しく過ごす集いの場
です。市内各所で開催しています。



すべての人に“やさしい”まちづくり

3

障害者

誰もが暮らしやすいまちに進化中

特集

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境

障害のある人もない人も、すべての地域で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、事業者や地域の団体と一緒に取り組みを進めています。

「手話言語・障害者コミュニケーション条例」制定

2015年4月施行

手話言語のみに特化せず、点字や音訳など障害のある人とない人の幅広いコミュニケーション手段の促進について定めた条例を全国で初めて制定しました。

手話 要約筆記 点字 音訳

手話



市立小学校の4年生を対象に、耳の聞こえない人の生活や手話を学ぶ「手話体験教室」を実施しています。

手話フォンを設置 (あかし市民広場)



明石の駅前ビル内に自治体で初めて手話フォンが設置されました

事業者向け研修

バス会社やタクシー会社など事業者も、必要な配慮を学ぶ研修を実施しています。



段差はありません



点字メニューを置いたお店も増えてきました

5つのポイント

- ① 対象 ▶ 必要としているすべての人に
- ② 視点 ▶ その人が
- ③ 内容 ▶ 必要としている支援を
- ④ 場 ▶ その地域で
- ⑤ 責任 ▶ 行政の責任において

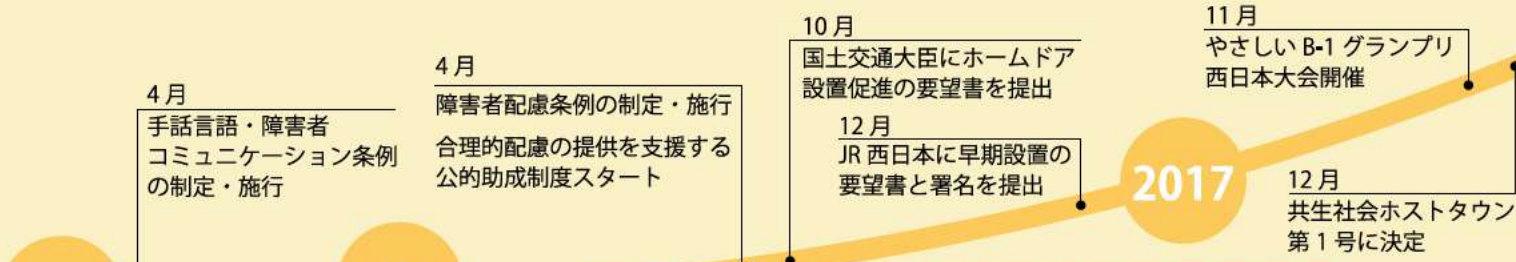
行政が費用を負担することで、お店も利用者もハッピーに。さらに、みんなが利用しやすくなったから、まち全体がハッピーになるってことだね!



幅広いコミュニケーションを支援



点字



JR明石駅 ホームドアの設置

誰もが安全に安心して公共交通を利用できるように市民の皆さんとまちを挙げてホームドアの設置に取り組んできました。



明石駅前でを行った署名活動

2020年2月 まち一丸で取り組み実現!!



ホームドアが設置された明石駅

やさしいB-1グランプリ 全国大会



障害のある人がホスト役で来場者をおもてなし

総合福祉センター 新館オープン

ユニバーサルスポーツが体験できるほか、障害のある人が働く食堂も。



障害のある人もない人も一緒に楽しめます

特集

じぶんも

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境

全国初

合理的配慮の提供を支援する 公的助成制度

2016年4月～

事業者や地域の団体が障害のある人に必要な合理的配慮を提供するためにかかる費用を助成しています。



点字メニュー
あります

対象/事業者や地域の団体など
助成内容/

- ①点字メニュー・コミュニケーションボードなどの作成 (上限5万円)
- ②折りたたみ式スロープ・筆談ボードなどの購入 (上限10万円)
- ③手すり設置・段差解消などの工事 (上限20万円)

お店にステッカー貼っています!

手すり
あります

4月
明石駅周辺のユニバーサルマップを発行

8月
(仮称)あかしインクルーシブ条例検討スタート

2月
手話フォンを設置

2019

あかし案内所オープン

誰もが利用しやすい「みんなのトイレ」や、授乳やおむつ交換ができる「子育てサポート室」などを備えたあかし案内所が2020年3月にオープン。



明石駅南に開設された「あかし案内所」

あかしユニバーサル歯科診療所



障害のある人や有病高齢者などが利用しやすく、休日の応急処置も行う「あかしユニバーサル歯科診療所」を市民病院敷地内に開設しました。

400を超えるお店や施設に 設置しています!

外国人や障害のある人にも
利用しやすい店づくりをしています



スロープ
あります



車イスも
ベビーカーも
入りやすい!

筆談ボード
あります



2月
JR明石駅ホームドアの供用開始

3月
あかし案内所オープン

11月
やさしいB-1
グランプリ
for SDGs 開催

6月
ユニバーサル歯科
診療所開設

2020

いつまでも

みんなで

すべての人に

やさしいまち



(誰一人として取り残さない)

インクルーシブ

(仮称)あかしSDGs推進計画

(第6次長期総合計画)

「SDGs未来安心都市・明石～いつまでもすべての人にやさしいまちをみんなで～」を実現するため、SDGsの理念を反映した次期総合計画を策定するほか、全市的な取り組みを推進します。



総合計画を策定するほか、全市的な取り組みを推進します。

(仮称)あかしインクルーシブ条例

年齢・性別・障害・国籍などに関わらず、すべての人が安心して暮らせるインクルーシブ(誰一人として取り残さない)なまちづくりを実現するために、今後の指針となる新たな条例の制定を進めています。

あかし手話チャンネル開設

市政情報を手話で紹介。月2回、広報あかしの内容を配信しています。



ろう者である職員が
手話で情報発信



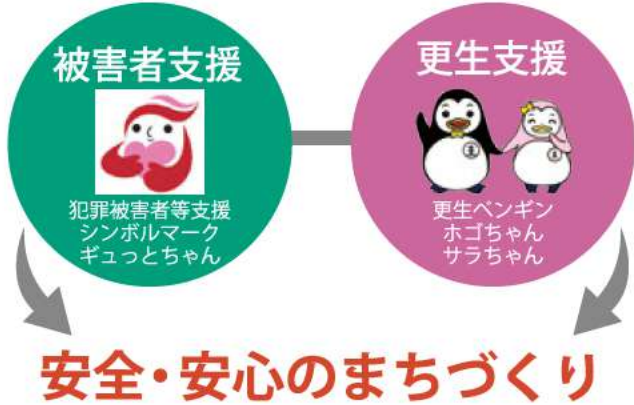
手話チャンネルはこちらから

すべての人に“やさしい”まちづくり

安心して暮らせるまちを みんなの手で

4 誰一人置き去りにせず支え合う

被害者支援と更生支援は車の両輪



市は被害に遭った人や家族に寄り添う被害者支援に取り組んでいます。また罪を犯してしまった人が再犯をしないためのサポートにも力を入れています。この2つは、密接な関係にあります。**被害者を生まないまちにするためには、加害者を作らないことが一番。**地域全体で支えることが、より安心・安全なまちを築いていくことにつながります。



犯罪被害者やその家族に寄り添ったきめ細やかな支援を進めています。当事者の声を何度も聞きながら、条例や支援に反映させてきました。

被害者の声を何度も聞きながら支援を検討してきました



そがべ こと 曾我部 とし子さん

万が一、私のように辛い思いをした人がいた時に、明石のこの条例が少しでも救いになればと思います。



はせ まさる 土師 守さん

明石市の制度は、被害に遭った人だけではなく、現在平穏に暮らしているみんなのための制度です。弱者にもやさしいまちづくりが進むことを期待しています。

あなたに寄り添い幅広い支援をします！



犯罪被害者等支援

被害者の声に寄り添い条例に反映



特集

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境

みんなで支えるよ。



更生支援

認知症の高齢者などが、社会からの孤立や、経済的な苦しさにより、万引きなどの再犯を繰り返すことが全国的な問題となっています。

万引きを繰り返す



そこで、明石市では

2019年4月 全国初 明石市更生支援等条例を施行

早期に適切な支援につなぎ 社会復帰を支えます！

37の団体で連携し、支援のあり方を協議しています。



罪に問われた人などの立ち直りを 周囲の人たちと一緒に支えていきます。

更生支援の取り組みは、地域が現場です。地域の実情を知っている基礎自治体だからこそ、早期に、総合的に、継続的に支援を行うことができます。

罪を犯してしまった人が、立ち直り、地域で孤立することなく日常生活が出来るよう、「おかえりなさい」と迎えられるまちをみんなで作っていきます。



おかえりなさい

あかし更生支援フェアを開催

更生支援への理解を深めてもらうため、「あかし更生支援フェア」を開催し、市民への啓発も。



明石は日本の トップランナー

明石市の取り組みに期待しています

「更生支援」というと、特別なことをするイメージがあるかもしれませんが。実際は、支援が必要な人に必要な支援をする、行政として「当たり前」のことにするだけなのです。これがすごく大切。そして、もう一つ大切なのは、地域とのつながり。刑務所を出た人が必要なものは、「安心できる居場所」と「出番」です。

明石市では、地域による「早期・総合的・継続的」支援を一つの理念として掲げた条例を全国で初めて作られました。これを機に、明石市のやさしいまちづくりが進み、より安心して暮らせるまちへと発展することを期待しています。

(2019年あかし更生支援フォーラムより)

村木 厚子さん(津田塾大学客員教授)

Message



ジャーナリストの 江川 紹子さんを迎えて開催 (2018年)

「すべての市民のため」の施策です

ポイント 1

全国初 立替支援金制度を導入

被害者や遺族への損害賠償金が支払われない場合、市が賠償金を立て替え、当事者に代わって加害者に賠償請求します。



ポイント 2

全国初 再提訴等費用の補助

裁判所に支払う費用(印紙代・郵券代)を市が補助します。

真相究明に要する費用の補助も

情報提供を求めめるために必要なチラシなどの製作費用を補助します。

ポイント 3

全国初 特例給付金制度を導入

心神喪失などで加害者が刑事責任を問われなかった場合、被害者の遺族に給付金を支給します。

ポイント 4

あかし被害者基金を設置

市民や企業など幅広い層から寄付を受け付けています。

特集

15歳以下

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境

すべての人に“やさしい”まちづくり

5 LGBTQ+ / SOGIE ありのままがあたりまえのまちへ

すべての人にやさしいまちづくりを進める明石市。子どもや高齢者、障害者はもちろん、見えづらい存在と言われる性的少数者の人たちも、みんなが笑顔でいられる暮らしやすいまちを目指しています。

全国初

LGBTQ+施策担当を採用 (全国公募)

性的少数者 (LGBTQ+) の支援を担当する専門職員を採用。パートナーシップ制度の導入や専門相談などの支援に取り組んでいます。



広報あかし 2020年7月15日号で特集

ありのままがあたりまえのまちを目指して



LGBTQ+/SOGIE 施策担当
たかはし あき
高橋 朗

2020年4月入庁。2018年から市内での支援グループを立ち上げ活動を行う。

「こんなこと相談していいのかな？」
と思うようなことでも
遠慮せずにどうぞ



LGBTQ+/SOGIE 施策担当
ますはら ひろこ
増原 裕子

2020年4月入庁。「誰一人取り残されない社会」を目指して幅広く活動。LGBTQ+研修・講演の実績多数。

性的少数者が抱える悩みの専門相談

明石にじいろ相談窓口を開設

悩みを抱える本人のほか、家族や事業者からの相談も受け付けています。

申し込み方法などは
こちらへ



子どもを含めた関係性を証明 /

全国初

パートナーシップ・ファミリーシップ制度

性的少数者のカップルだけでなく、一緒に暮らす子どもを含めた家族の関係性を届け出たことを明石市が証明します。



あたりまえの生活を明石で

市営住宅の入居
※子どもも含めて入居可能

住民票の続柄の記載を「同居人」から「縁故者」に変更可能

医療機関でパートナーを家族として対応

犯罪被害者等遺族支援金や特例給付金等の給付
市営墓地の使用・承継

もしものときの支えも



全国の自治体に広がるパートナーシップ制度

日本では同性婚は認められていませんが、LGBTQ+のカップルを、生活を共にするパートナーとして自治体が認定する「パートナーシップ制度」が広がっています。



兵庫県宝塚市

市民病院で、パートナーは家族と同様に扱われる

東京都渋谷区

公営住宅の同居はこれまで親族に限られていたが、同性パートナーも可能に



全国で 65 自治体 (2020年11月現在)
制度利用者 1301 組 (2020年11月現在)

地域連携

明石にじいろネットワーク会議を設置

市と地域、民間や病院など関係機関が連携して、それぞれの現場の課題や当事者が抱える生きづらさなどを共有し、具体的な施策につなげていきます。



研修

学校、病院、民間事業者への研修を行っています。



@akashi_nijihiro

明石市 LGBTQ+/SOGIE 施策

公式 Twitter でさまざまな情報を発信しています。



フォロー
よろしく~!



特集

子ども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境

すべての人に“やさしい”まちづくり

6 ひきこもり相談支援

ひきこもりに特化した組織として「ひきこもり相談支援課」をあかし保健所に設置しています。医療・福祉・心理・法律などの専門職員を増員し、本人や家族一人ひとりの不安や心配に寄り添います。気になることがあればご相談ください。あなたと一緒に考えていきます。

ひきこもりの人って
どれくらいいるの？
国の調査によると、市内では、ひきこもり状態の人が、**15歳～39歳で1294人、40歳～64歳で1456人**いると推定されています。
※内閣府資料を元に市の推定人口から作成

年齢も
幅広いんだね



2019年7月

中核市で全国初

ひきこもりに特化した組織

あかし保健所内にひきこもり相談支援課を新設

本人や家族、一人ひとりに寄り添い
総合的な専門相談・支援を行っています

専門職員を配置 /

精神保健福祉士

臨床心理士

社会福祉士

保健師

弁護士

お知り合いにも
ご紹介ください



気になること何でもお聞かせください

ひきこもり専門相談窓口

電話 TEL **918-5659**

ひきこもり相談支援課 (FAX)918-5440

ウェブ 明石市 ひきこもり専門相談 **検索**



ウェブ相談は
こちらから

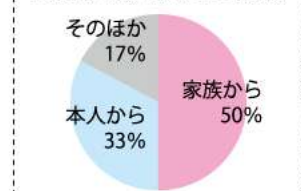
来所 場所/あかし保健所 3階 **予約制**

ほかに **訪問** **オンライン** でも相談可能!

1年で1000件以上の相談

ひきこもり専門相談窓口を
開設してから1年で1118件
の相談がありました。

5割が家族から、
3割が本人からの相談



(2019年7月～2020年6月)

40代の相談が最多
40代 …… 20%
20代 …… 14%
30代 …… 13%

本人からの相談も
結構多いね



専門職が各分野で活躍中

豊富な人材で 寄り添います



— 国から・民間から・専門職 —

明石市では、国・民間企業からの職員や、知識や資格を持つ職員が、それぞれの専門分野で活躍しています。

(過去実績を含む)

国の中央省庁から受け入れ

国土交通省・厚生労働省・法務省・文部科学省・防衛省

大手広告代理店など民間から

シティセールスや本のまちの推進など

専門知識や経験で暮らしをサポート

弁護士・社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師・臨床心理士・手話通訳士など

弁護士職員は、
全国最多の**12人**
(市区町村)



特集

ひきこもり

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境

いつでも・どこでも・だれでも 手を伸ばせば本に届くまち

本をより身近に感じられる「本のまち明石」への取り組みを進めています。

 貸出冊数が 300 万冊を突破

あかし市民図書館

本のまちの拠点に

明石駅から徒歩 2 分の
駅前ビルに本が集まりました！



車いす・ベビーカーも
通りやすい

「あかし市民図書館」が 2017 年 1 月にオープン。
毎日多くの方が利用しています。

ここが便利に！



平日は、夜 9 時まで開館
仕事帰りにも利用できます！

開館時間・日も拡大し、さらに便利に

ここが充実！



一般書エリア
広さ約 4 倍

蔵書約 2 倍

座席約 3 倍

※旧市立図書館との比較

学校でも本を身近に



学校図書は貸出冊数は
50 万冊を突破

より多くの児童や生徒が本に親しむことができるように、市内すべての市立小・中学校に学校司書を配置。本の読み聞かせや掲示物の作成など、本に親しみやすい環境を整えています。

新しい移動図書館車が 市内 78 か所にお届け



病院や高齢者施設・
保育所にも本をお届け

※巡回日程は、
市立図書館
ホームページに掲載



読書バリアフリー環境の充実

- (仮称) 読書バリアフリー条例の検討
- 図書館・小中学校に読書バリアフリー機器を整備
- 図書館への来館が困難な人への図書宅配サービス
- 図書館での対面朗読サービス



赤ちゃんのときから本と仲良し



健診受診時に、絵本と読み聞かせ体験をプレゼント。読み聞かせを通して、親子でゆっくりふれあう時間を作っています。



家で過ごす親子にお届け /

絵本の宅配便

新型コロナで休館している間、家で過ごす時間が増えた子どもたちに、図書館スタッフが 750 件のべ 3742 冊の絵本を届けました。

丁寧に包まれた本を見て
職員の温かいお心を感じました



だいに読みます
ありがとう

たくさんのメッセージ
ありがとう

特集

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境

8 環境を守り育て未来につなげる 地球と自然にもやさしいまちへ

あかしの生態系を守る

環境問題に
本気で取り組む

県内初 気候非常事態を宣言

2020年3月

近年、市内でも集中豪雨や台風により被害が発生していることを受けて、気候非常事態を宣言しました。

土砂崩れ



ため池を守る かいぼり

ため池の水を抜いて、その栄養分を海に届けています。



ため池に触れる

地域の人が中心となって開催されるレンコン掘り大会。



大型台風

全国初 アカミミガメの防除対策

生態系に悪影響を及ぼす外来種のアカミミガメの防除調査や引き取りを行っています。



明石市レッドリストの作成

市に生息する生き物の中で、絶滅の危機にある種のリストを作成。



オニバス



カワセミ



サクラトゲアナバチ

ほか 256 種

あかし動物センター

人と動物がともに生きることができるように、取り組みを進めています。

【ペットに関する相談の受け付け】

相談件数

1882 件

2018年4月～2020年10月

関西初

土曜日
も開いています



ペットは最期まで
飼うことが大切です

【動物のことを知ってもらうイベント】

イベントを通して、動物の温もりを感じてもらおう場を提供しています。



犬のしつけ方教室



イベント情報は
広報あかしや
市ホームページに掲載

わん(ONE) DAY サマースクール
～わんちゃんとふれあう～

パートナーシップを充実させる

明石の環境を守り育て、
将来につなぐために

生物の多様性を守り続けるため、環境学習や太陽光などの自然エネルギー活用の推進、ごみ対策などの活動を続けています。今後、明石本来の豊かな自然や生物を次世代に残し続けるため、市や団体と連携を深めながら、地域全体で取り組んでいきたいと思ひます。



エコウイングあかし
かわしま ゆきお
会長 川島 幸夫さん

園児・小学生対象
環境学習



一緒に活動しませうか



環境フェア



エネルギーに関する
講演会

地域・民間企業、
みんなと一緒に

特集

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

LGBTQ+

ひきこもり

本のまち

環境

やさしい社会を明石から



対談 市長 × パパたこ

明石のまちづくりについて、市長の熱い思いをパパたこがインタビューします。

まちづくりの想いをインタビュー！



動画で解説しています



Q 人口が増えて、明石のまちが賑わってきたのはなぜ？



こども施策に力を入れると、経済も良くなる



明石市のまちづくりの大きな柱は2つ、

「こどもを核としたまちづくり」と

「すべての人にやさしいまちづくり」です。

こどもに力を入れることは、まちの未来をつくること。具体的には、市独自の5つの無料化（p07）を実行。すべて所得制限なしで、サービスを無償で提供しています。親の収入は関係ない、こどもはみんなまちの宝。将来の担い手を育む大切な支援です。



これらの施策が広がり、人口が8年連続増えてきました。

また、子育て世代や働き盛りの転入者が増えることで、民間

需要も高まり、まちの賑わいにもつながってきました。さらに税収も増え、この税収を基に高齢者や障害者（p12-15）に対する新たなサービスの提供、教育、本のまちの取り組み（p20）など、さらに充実したまちづくりを市民に還元できる、いわゆる「明石の好循環（p02-03）」につながっています。

つまり、**すべてのこどもをまちのみんなで本気で応援すればまちのみんなが幸せになる、これが明石が元気な理由です。**



明石の好循環

明石市が目指すまちづくり

Q 「やさしいまちづくり」って？



誰一人として取り残さない、インクルーシブなまちづくり

人はいつ支援が必要になるかわかりません。明日、被害者（p16）になるかもしれないし、認知症（p12）になることもあります。そんなときに、「大丈夫。」と言えるまちに、**困ったときに「お互いさま」と言える、みんなで支え合い、助け合える、誰にとっても暮らしやすいまち**を目指しています。そして更生支援（p17）についても「おかえりなさい」と寛容に迎えることこそが、これからのまちの強さになると信じています。誰一人として取り残さない、インクルーシブ（包み込む）なまちづくり、まさにこれが「やさしいまちづくり」のこトです。



障害当事者がボランティアとして活躍。障害のある人もない人もみんなでお互いを支え合うまちづくりを展開中。

All for All

Q 新型コロナへの対応は？



生活を守るために、必要なのは、スピード感

2018年に中核市に移行した際、保健所を設置（p04）し、検査体制を整えました。独自でPCR検査を行い、相談から検査まで1か所で短期間で行える体制を整えました。

生活支援の面では、まず最初に行ったのが、個人商店への2か月分の家賃支援（p05）です。商店だけでなく、そこで働く従業員、さらには地域経済を守ることもつながりました。あわせて、生活に困る人へも全員にアンケートを配布し、直接市民の困りごとを聞いて支援につなげてきました。

学生への支援（p05）では、コロナの影響で将来の夢をあきらめることがないように、ニーズに合わせ、金額や対象を拡大して学費の支援をしました。

目の前で困っている市民がいるなら、すぐに手を差し伸べるのが行政の役割。国や県の動きを待っては遅すぎます。市民に近い基礎自治体だからこそできることがあります。より実効性の高い施策をスピード感を持って実現していく、これが今、行政に望まれていることです。



直接、市長に意見が届く意見箱



3つの発想の転換

地方こそが
リーダーシップを発揮すべき

1 × お上意識 ○ 自治意識

市民に一番近い基礎自治体だからこそ、市民の生活や暮らしの声、苦しみや願いを直接聞くことができます。国を待つことなく、地方こそが声を上げていく時期にきています。

国
↓
県
↓
市

これまでと
時代が違う！
国が決めて
都道府県を経由して
市町村が従う

国
↑
県
↑
市
市民に最も
近いのは、
市町村
市民



実行するには「人事」と「お金」が必要

適時・適材・適所の組織編成

子どもにかかる予算を2010年の126億円から2020年には256億円と2倍以上に、子ども部門に関わる職員を3倍以上に増やすなど、予算や職員の配置を重点分野にシフトしてきました。



専門知識が
必要なのでは？

質のいいサービスを提供するには、専門的な知識を持った職員(p19)が必要です。明石市では、全国公募で弁護士を募集し、現在12人が働いています。また、福祉職や民間や国からの出向で働いている職員もいます。

また、新型コロナ対応等として、4月以降15回の人事異動を行い適時・適材・適所の組織編成を組んでいます。

となりまちと我がまちは違う

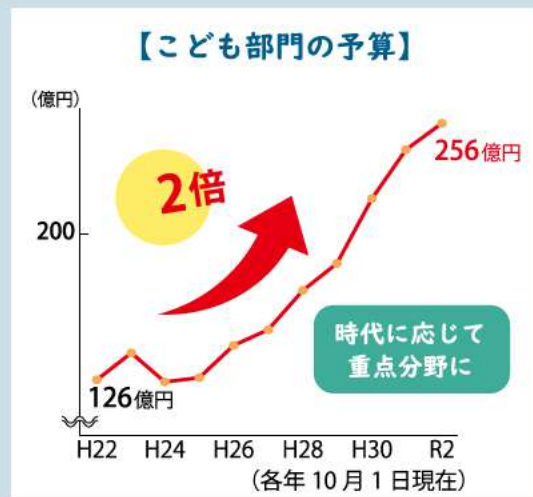
2 × 横並び主義 ○ 地域の特性

国が決めたことを全国一律にする、という発想は今の時代には合いません。新型コロナ対策に関してもそれぞれの地域で状況は違います。我がまちを見ながら責任を果たしていくことが求められています。

昨日と同じ明日はない

3 × 前例主義 ○ 新しい発想

これまで通りだから構わない、これまでと一緒にいいという発想ではなく、時代状況に即してスピード感を持って臨機応変にまちづくりに取り組む必要があります。



やさしい社会を明石から

国を待つことなく **先駆性** 明石だけでなく **普遍性**
明石からはじめる 明石から全国に広げる

市民に必要なことは、国を待つことなく、先んじてやっていく。実際、施策の中には、全国の自治体にも広まり、国も明石を参考にして、法整備につながる動きもあります。この「やさしい社会」が全国に広がり、誰もが住みやすいまち、安心して暮らせるまちになるよう、これからも市民と一緒にまちづくりを進めていきます。

明石市長 泉 房徳



★ 明石には たからものがいっぱい！

市民が
選んだ

明石の「たからもの」 総合ランキング

1位	明石焼(玉子焼)
2位	子育てしやすいまち
3位	明石城(明石公園)
4位	過ごしやすい気候
5位	天文科学館
6位	タコ(マダコ)
7位	時のまち
8位	イカナゴ
9位	海のまち
10位	あかし市民図書館

「第3回 あなたが選んだ『明石のたからもの』」
アンケート結果より(2020年3月発表)



1位
明石焼(玉子焼)

行きたいまち
住みたいまち
応援したいまち

2016年
B-1グランプリスペシャル
ゴールドグランプリ受賞



2019年

B-1グランプリin明石



2位



子育てしやすいまち

2019年

市制施行100周年
明石城築城400周年

歴史の
まち



3位

明石城
(明石公園)

2020年

天文科学館開館60周年

5位

天文科学館



4位

過ごしやすい
気候



6位

タコ(マダコ)



時の
まち

7位

時のまち



海の
まち

9位

海のまち



本の
まち

10位

あかし市民図書館



明石たこ大使
さかなクン

©2020 AWAH and Tm



海の
まち

2022年秋は

第41回全国豊かな海づくり大会 開催決定

2022年秋、明石市をメイン会場に「全国豊かな海づくり大会」が開催されることが決定。同大会は、天皇皇后両陛下のご臨席が恒例の国民的行事の一つとして、昭和56年から都道府県ごとに全国各地で開催されています。市民会館での式典行事や、稚魚の放流などのイベントを行う予定です。



13 気候変動に
適応する



14 海の豊かさ
を増やす



15 陸の豊かさを
守る



SDGs(Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標